バイバイ、モラトリアム

バイバイ、モラトリアム

Dragon Quest XI　Camus × Veronica
Unofficial Fanbook
SEIKIMATSU-HAMSTER
2019.2.24

ついに邪神ニズゼルファを倒した
イレブンたちは　ケトスの背に乗り
それぞれの故郷へと向かうのであった。

貴様らのレベルなら
闇の衣を
消さなくても
俺は死ぬぞォオ!!

ウォオオ
いくぞォオ!!!

『これまでのあらすじ』じゃ

※ラーの鏡など、独自設定が多々あります。

兄と妹のはなし

姉と妹のはなし

妹ふたりのはなし

バイバイ、モラトリアム

酒場にて

……

あんなにも
辛く、苦しく、
楽しかった旅が
終わる

あーあ

あたしたちだけになっちゃったわね

最初の面子だな

懐かしいですわね

……

あの頃はまだ、こんな未来を想像もできていなかった

私もですわ

オレも

あら、あたしは信じてたわよ

あたしの勇者様は絶対に世界を救うんだって

カミュは嘘でしょ！

はは、ばれたか

……
あと少しでラムダね
…お別れしなければいけないのですね……
一生の別れじゃないわよ、大げさね
でも…
そっ…
今のうちに話せることは話しておきなさい

流石に気を
利かせたのね

えらいわよ
ひよっこちゃん

オレは
いつだって
読んでるだろ

空気

そうだったかしら

……

お前、この後
どうするんだ?

……
元の姿に戻る方法を探すわ
あてあるのかよ
当たり前でしょ
あたしを誰だと思ってるのよ
なによ
あたしだって今まで何もしてなかったわけじゃないわ
そんなこと一言も言わなかったじゃねぇか
旅の間、ずっと解呪の方法を探してはいたんだから
邪神を倒す方が先決だったし
ウラノス様のペンダントもあったしね

ヒントは
ハリマさんよ
ハリマ…八咫の鏡か!
でも、あれは…
そう…八咫の鏡でもあたしの呪いは解けなかった…
でも、それよりももっと強力な解呪アイテムがあったの
それが、ラーの鏡
映した者の真実の姿を現す神秘の鏡…
八咫の鏡とラーの雫は、この鏡に生み出された副産物に過ぎないわ
これならきっと、あたしの呪いを解いてくれる

ぎゅ…
一緒に行くか？
探すんだろ
その鏡
マヤちゃんとお宝探しの旅に出るんでしょ？
ようやく一緒にいられる様になったんだから
暫くはマヤちゃんだけのお兄ちゃんでいてあげなさいよ
……ばかね

……
なら
ついでに探してきてやるよ
そのお宝
ついでなの？
ついでがいいんだろ、お前は
そうね、そのくらいがいいわ

それで
時々はついでに会いに来て頂戴
ついでにか
ええ、ついでに
あたしはそれでいい

じゃあね！
お元気で〜
うわ〜ん
カミュ〜!!!
さみしいよぉ
オレも

ただいま、
マヤ
おっせーぞ！
バカ兄貴‼
なんだよ
その格好
イケてるだろ？
悪い
悪い
ぎゅ…
もう
どこにも
いかない…？
——ああ…

これからは
ずっと一緒だ

ししっ

兄貴、
泣いてやんの

これは
嬉し泣きだから
いいんだよ

約束どおり
ふたりでお宝探しの旅に出よう
なあ、マヤ
この世界はオレ達が思ってたよりも

ずっと広くて
綺麗なものに溢れていたよ

んで、お前どこに行きたい？

ぐっ

へっ？

お宝探しついでに好きな所に連れて行ってやるよ

じゃあっ、じゃあ！おれ、暑い所に行きたい!!

砂漠とか！

ヒ、ヒエ～。無知ゆえの無謀

なんでよりにもよってそんなとこなんだよ…

いしし！だってここ寒ィじゃん！

どうせなら真逆の所の方が楽しいだろ～？

どこにでも連れて行くって言ったのは兄貴じゃん！

ガチで暑いぞ

おま、後悔するなよ

しねぇし！

昔っから兄貴はいちいち大げさなんだよな～～～

はぁ～やれやれ

よ～～～し、お兄ちゃん張り切って

ヒノノギ火山に行っちゃお☆

☆そして勃発する久々の兄妹喧嘩―!

兄と妹のはなし

カミュ様からのお手紙ですか？
ええ

今はプチャラオ村に居るみたいよ
メダ女の見学ついでに寄ったらマヤちゃんが気に入ったみたい
あそこ、胡散臭いものばっかりで楽しいものね
まあ！お二人ともお変わりなさそうで良かったですわ
次に来て下さるのはいつでしょうね、お姉様
さあ？
気ままな二人旅ですもの近くに来たら寄るんじゃない？
そうですね
先月も先々月も〝ついでに〟寄って下さいましたし
ぐっ…

あ、あれはラーの鏡の情報交換に来ただけで…！

ええ、ええ

マメにお手紙を下さるのも、〝進捗報告〟なんですよね

にっこり

……鏡のありかはわかりそうですか？

ぎゅ…

では

大体の場所は絞られて来たわ

あとは…

行ってみないとわからない

参りましょうか

あたしとセーニャだけで？

はい！お嫌ですか？

嫌じゃないけど…

では、決まりですね！

お姉様と私、ひさびさの二人旅ですわ

ちょっとちょっとどうしちゃったの？セーニャ

アンタらしくないじゃない

だって羨ましくなってしまったんです

ぶー

カミュとマヤちゃんが？

…はい

皆様との旅もとても楽しくて、幸せな時間でしたけれど…

久しぶりに、お姉様をひとり占めしたくなってしまいました

いつも一緒にいるじゃないの
でも、お姉様の心はここにあらずですもの
っ…!
もちろん、旅の最中からお二人を応援していた身としては、大変喜ばしいことですし
ちょっ、なに言ってんの!!?
せっ、
お姉様の身体が元に戻ったあかつきには
セーニャ!
きちんとカミュ様にお任せするつもりですが
今はまだ、セーニャのお姉様なのに
カミュ様ばっかりズルいです

ですから…
お姉様も
あと少しだけ
ぽすん
セーニャだけの
お姉様でいて
ください
ぷっ
仕方のない
甘えん坊ねぇ
わかった
わかったわよ
一緒に探しに
行きましょう
二人でゆっくり
寄り道
しながら、ね
〜〜〜〜っ

お姉様ぁ〜〜〜!!!

あー、よしよし

でも、探すからにはカミュ達より先に見つけるわよ!

はいっ!!

後日

えっ!?

旅に出た!!?

鏡探しの!?

すみません…

いしし!

捨てられてやんの〜

待ってるのも性に合わないし
自分でも鏡を探しに行ってくるわ
追伸
棚の中にアップルパイ入ってるから食べていいわよ
オイ
何週間前のだよ
あーあ
んで、結局兄貴捨てられたの？
そういうんじゃねぇから！
娘たちがすみません
ヘコヘコ
あ、いえ
どこに向かったか検討つけたいんで、ちょっと部屋の中を見てもいいですか？
ええ、もちろん
にこにこ
どうぞ、どうぞ

しっかし…
いくら旅の仲間だったからって言っても
娘の部屋に男ひとりであげるかね…
トン
トン
随分と信用されたもんだな
ボソ…
やりずれぇ…
さて、と…
あいつが大事なモンを隠しそうなところは、と…
ま、
この辺しかないだろうな

ん
これか
露骨に怪しい・・・
案の定
魔法で鍵が
掛かってるな…
でも
これさえあれば
ってな
手紙……？
しかも…
オレ宛…？
──────
……

姉妹のはなし

よーお
おちびちゃん

奇遇だな

げっ

げっ、とはなんだ

お前、いきなり消えやがって

そういう問題じゃないだろ!

ギャンギャン

ちゃんと手紙残しておいたでしょ!

お久しぶりです、マヤさん

セーニャさん!久しぶり!

ギギギ…

…でアンタなんでこんな所にいるのよ

…そりゃ、お宝の匂いがしたからだよ

…アンタ、まさか自力でここを探り当てたの？

盗賊の鼻を舐めちゃいけないぜ

…あとはまあ、お前が家に残してった資料とかを見てだな……

お前、わざと手がかり出し渋ってただろ

なんでそんな真似をした？

……

何のことだかわからないわ

……

言いたくないならいい

でも、まあ…

結果的に
同じところに
辿りついたって
ことは…

ここに
ラーの鏡が
ある可能性は
高いわね

……よし！

遅れるんじゃ
ないわよ！

お前がな!!

ザッ

うふふ、
お姉様
嬉しそう

あれで……

ヒュッ
ベロニカさん、本当に凄い魔法使いだったんだな！
ドヤッ
まあね
ギギギギギギ
おガキンチョだけどな
アンタは相変わらず減らない口ね～～～

どっちがガキなんだか…

兄貴、ずっとベロニカさんの為に鏡を探してたんだぜ

ええ

本人は隠してるつもりだったみたいだけど、もうバレバレじゃん

色々と

実際本人を前にしたら

アレ

まあ

なのに——

素直じゃねえなあ…

やれやれ

そうですねえ

お姉様も
やっぱり

カミュ様と
一緒にいる時が
一番楽しそう
ですわ

セーニャさん、
寂しいの？

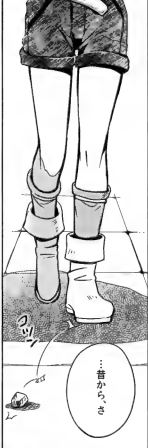
ええ、
少し

マヤさんは
どうですか？

おれ？

……

おれは……

…昔から、さ
コツン
兄貴が「何かしたい」とか「何か欲しい」って言う時は
おれの為だったんだ
ほんっと要領悪くてさ
おれの代わりに殴られたりこき使われたり
いっつも自分を犠牲にして
おれが黄金になってた間だって
どうせ、無茶ばっかりしてたんだろ
兄貴は言わないけど、わかるよ
…妹だもん

だから…

兄貴が初めて
自分の為に
望んだことだから

ベロニカさんと
上手くいくなら
それは、嬉しいよ

……でも

チョイ
チョイ

正直

めちゃくちゃ
寂しい

ぷっ

可愛い妹ふたりにこんな思いをさせるのですから
お二人にはしっかりと幸せになって頂かなくてはなりませんね
正直心配だな～
兄貴、デリカシーとは無縁だろ？
お姉様も意地っ張りですから
一応は
想いを伝えあったはずなんですけれど
ヒュー
ヒュー
ピィー
ピュ～
フレッフレッ
こんなでも一応デキてんのかよ兄貴ィ～～
これはもう、おれ達がしっかりするしかないね
セーニャさん
はい！二人で頑張りましょう！
公開処刑型告白

……
二人して随分と楽しそうね？
なんの話をしているんだ？
妹同士の秘密！
です

妹ふたりのはなし

……これ、
か…？
鏡じゃないな
チャッ
ってことはココもハズレかよ〜〜！
見せて
ん
いいえ
これが目的のもので合ってるわ

鏡じゃないぜ？
ええ
そもそもラーの鏡とは
八咫鏡
ラーの雫
そしてこの、太陽の紋章が合わさった状態の物を言うの
オイ。
…聞いてねぇぞ
しれっ
…悪かったわね
分かったのがつい最近だったのよ
では、次の目的地はホムラですね
ヤヤク様に八咫鏡をお借りしなければ
そう…ね…
その必要はないぜ

何かの
手掛かりに
ならないかと
思って

ハリマに
借りて来たんだ

まあ！

流石ですわ
カミュ様！

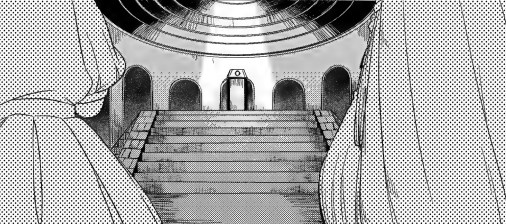
これですぐに
試せますね、
お姉様！

え、ええ…

ほら

あ…

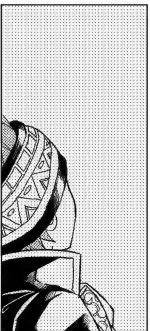
りがと…

バッ

嫌なら、
無理に
戻らなくても
いいんだぜ

あ…

たし……

戻りたくない……？

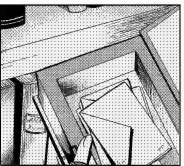
そんなわけない
あたしは、ずっとこの姿が嫌だった
すぐに疲れて
力もなくて
皆に迷惑ばかりかけていた
元の姿だったらもっと皆の役に立てたはずだし
子ども扱いされて苛立つことだってきっとなかった
だから旅の間からずっと
元の姿に戻る手段を探していたのよ
でも……

ならどうして、

あの時
カミュの申し出を
断ったの…？

どうして
セーニャが鏡を
探しに行こうって
言った時

すぐに
頷くことが
できなかったの？

どうして…

あたしの為に
鏡を探し続ける
カミュに

ラーの鏡がどんな
ものなのかさえ

教えることが
出来なかったの…？

あたし――

元に戻りたく
なかったの…？

………

もういい
今日の所は
帰ろうぜ
ハッ
え…
――っ
お待ちください
カミュ様
皆さま
お疲れの
御様子ですわ
とりあえず
休憩致し
ましょう
さ、お姉様も
あちらで
せ、
セーニャ…

お、おい…セーニャ
ピーン
!
兄貴ィ 腹減った〜！
はぁ？
いーじゃん、戻るにしても少し休もうよ
おれ疲れた〜
お前な〜
仕方ないじゃん おれ、コドモだもん
ギャッギャッ
お姉様、大丈夫ですか？
セーニャ… あたし……
分かっておりますわ
お姉様は 決して戻りたくないわけではないのですよね
そうよ
あたし、ずっと戻りたかったわ
だからここまで来たのよ
なのに…

なのに
なんで——！
〝元に戻る〟
とは言いますが
これだけ長い月日を過ごしていれば
そのお姿もまぎれもないお姉様ご自身です
〝変わる〟ということは
不安もあれば怖ろしくもありましょう

怖…い…？
なにを
いまさら
恐れるというの

怖い、のかもしれない……
それが何故かは自分でもわからない
けど
本当は怖がる必要もないってわかってるの
――それに
カチッ

やってみて
……
いいのか?
いいも何も、その為にここまで来たんでしょう
アンタもあたしも
第一、今更でしょ?
今までだって何度も見てきたんだから
よせい
そりゃそうだ

やるぞ
ええ

スゥ…

これ…っ！

お姉様……っ！

……っ

ベロニカっ…！

あ……

……あ…

お姉様っ!!!

タッ

良かったですー!

セーニャ

たっ…

ベロニカさん…

本当に大人だったんだ…

ああ…
その眼が——
ずっと忘れられなかったの

バイバイ、モラトリアム

触れることを
躊躇った
この手を
掴んでくれた

今もなお
この胸に疼く
卑屈な想いも

消したい
過去も

消えない
罪も

そうよ

くだらない所も
情けない所も

アンタの
今も昔も

アンタが許せない
アンタのことも

あたしが許してあげる
全部全部、愛してあげる
だからいい加減に諦めて
あたしにまとめて寄越しなさい
そうしたら世界一幸せにしてあげる
ああ、こんなの——
抗えるわけが、ない

ガヤ
ガヤ
いらっしゃいませー♡
だぁれだ♡

……
…なんでいんの？
あら お姫様は息抜きもしちゃいけないっていうの？
ここ アンタの街(デルカダール)じゃねーぞ
のしっ
久々に会った仲間に対して冷たいわねぇ
今日は一人で飲みたかったんだよ
最近の調子はどう？
まあ、ぼちぼち
たまには顔出しなさいよ
こっちには来てるんでしょ？
城とか用がなきゃ行きたくない所トップ3だわ

相変わらず
つれないのねぇ～
あ！
じゃあ
ベロニカとは
どうな…
あっ（察し）
もしかして
一人で
飲みたかった
のって……
……
そういう
ことよねぇ
ごめんなさい
別れてねー
ですけど!!?
まさか
別れたとは
思わなくて
知ってたわ
ドンッ

最近戻ったんですってね

耳が早いな

キミ以外はみんな定期的に連絡をくれるもの

元気そうで良かったわー

うぐ…っ

聞かせてごらんなさいな

少しくらいはアドバイスをあげられるかもしれなくてよ

………

ぜってー面白がってるだろ

うん!

テメェ…

…別に

仲違いしたとかそういうんじゃねぇよ

ただ…

アイツが少し、分からなくなっただけだ

ふぅん…？

〝怖がられてる〟

最近、避けられてる気がする

いや——

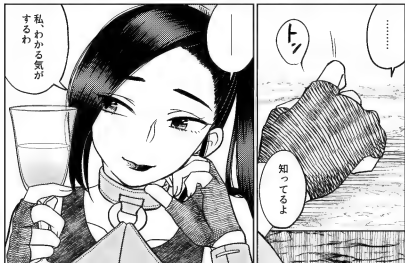
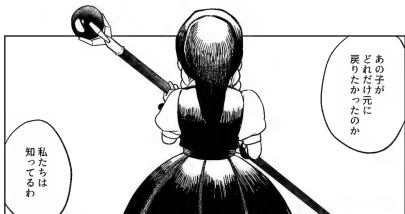
……怖がられてる

ねぇ…

嫌われたとか、そういうんじゃないのは分かる
普段は別にいつも通りなんだ
自分でも分かってるみたいですぐに戻るけど
でも突然一歩引く
時々、怯えたような眼をするんだよ
色々考えたんだけどよ…
今更オレのどこに怖がる要素があるんだかわかんねぇし…
お手上げ状態
正直ヘコむわ
ギッ

それって
いつから？
……元に戻って
ユサ
ユサ
いや…
その前から
少し様子は
おかしかったのか
……？
……アイツ
元に戻りたく
なかったのかも
しれねぇ…
それはないわよ

あの子がどれだけ元に戻りたかったのか
私たちは知ってるわ
何故だかわかる？
キミの横に並びたかったからよ
……
トン
知ってるよ
――
私、わかる気がするわ

ベロニカがキミを怖がる理由
マジかっ…!?
多分ね
ガタッ
端的に言えば
大人になったってこと
ハァ?
そりゃそうだろ
身体じゃなくて心のはなしよ

あの子は確かに姿が幼くなってしまっただけで
精神は大人のそれだったわ
けどね
ラムダ（故郷）では双賢の姉妹として大事にされていて
旅に出てからはすぐに子供になってしまったでしょう？
セーニャなんか旅の間よく声を掛けられていたわよね
申し訳ありません!!
それもあってアレであの子は
自分が異性にどう見られているのか知っている
男のあしらい方のひとつやふたつ心得てるわ
でもね…

ベロニカは知らなかったの
女としての自分なんて
キミに恋をしてからだって
キミが大切に大切に守ってきたから
自分とキミが〝違うもの〟なんだって気付けなかった
だからね
身体が戻って
今までのそれとは違うキミの感情を肌に感じて
〝女〟として求められることに
怖気ついてしまったのね

人を飢えた獣みたいに言うな！
ゲヘヘヘ
昨日まで自分のことを子ども扱いしてた相手がいきなり熱っぽい視線で見てくるのよ？
イヤァァァァ
ベロニカにとっては同じようなもんでしょ
こればっかりは性差なのかしら
私にも昔はあったわよ
自分を性的に見られることへの嫌悪感と恐怖が
ガーン ガーン…
マジか…！
言っとくけどそこまでがっついてねーからな！
むしろガマンしてんだぞ!!!
ドン
だから〜
男側の問題じゃないんだってば
女性は多かれ少なかれそういう時期があるってこと

ハァー…
いてっ！
パコンッ
散々女扱いしろって言っておきながら…
キミも悪いのよ！
ドン
はぁ!?
いくらあの子が子ども姿だからってあんなに気安く！
意中の相手がその気もなくベタベタしてくるから！
誰よりもあの子自身が！
自分の事を子どもだって思い込んでしまったんでしょう!?

…っ！
だからって
手ェ出すわけにはいかねーだろうが！
セーニャや私と同じような距離感でいればよかったのよ
ぐっ…
オレだって…
こんな日が来るだなんて思わなかったんだよ
……
まあ良かったじゃない
キミ
やっと男として見て貰えたってことよ

あんなに情熱的なプロポーズまでしておいて
酷い女だよなぁ
……あの姿だったから出来たのかもしれないわね
…じゃあアレはノーカンってことかよ
オレかわいそうすぎねえ？
ばか
なんでそうなるのよ
あの子の気持ちはいつだって本物よ
でも

誰かを男として見るのも

誰かに女として見られるのも初めてなのよ

喜びや期待と同じくらい不安や恐怖もあるわ

それは

許してあげて

………

わかってるよ…

…なんだよ

くっくっ

いいじゃない、いいじゃない!

ザッ

はあ?

おっぱいあたってんぞ

キミが人並みに
恋に悩むなんて！
こんなに素敵な
ことはないわ
私、今とっても
幸せな気分よ！
うるせぇよ
…ねぇ、カミュ
幸せになって
頂戴ね
私にとって
キミも大切な
弟の一人なのよ

勝手に弟にすんなよ
あの子の手絶対に離したらダメよ
約束よ
聞けよ話
もう二度と
諦めてはダメ

わかってる

――うん

なんだか湿っぽくなっちゃったし
イレブンの所で飲み直しましょう!

マスター お会計!

ヘイ お姉ちゃん
なんでそうなる

もう一人の弟にも会いたくなっちゃったんだもん♡

お生憎様
オレは結構頻繁に会ってるんでね
カミュあそぼー！
魚とってきた
お土産に
いーぜ！
ふざけんなよオマエー
お前ひとりで――……
早朝に前触れなく
遊びに来る元勇者
お姉様…！
なーんてな！
早く行こうぜ
ガタッ
お土産にクレイモラン産35年物持って行こうかしら
キメラの翼持ってる？
任せろ

酒場にて

――…
カミュに
嫌われたかも
しれない
いや、絶対に
それはないと
思うけど
どうしたの？
…あたしたち、
なんやかんやで
お付き合いする
ことになった
じゃない？
うん
ベロニカの
プロポーズ
格好よかったね

とはいえ、暫くの間は身体が子供だったこともあって
特に関係が変わったりはしなかったんだけど
うん
最近戻ったでしょ？
戻ったねぇ…
スゴイ…
じ〜〜〜っ
かわいい
オーホッホッ
当ーっ然よ!!!

え？
それで？
カミュも
喜んだでしょ？
――すごく
ええ
たぶん
じゃあ、
何が問題なの？
……
…さ、
最近ね
ちょっと
カミュを
避けてて…
カッ

ゴゴゴ!!

まさか
うちの相棒が
犯罪的なことを
……!!?

ズゴゴゴ

してない!

してない!!

よかった…

相棒を
殺めずに
済んだ…

アンタ
時々過激
よね…

何かトラウマ
でもあるの?

ベロニカは
僕が護る

変わんない
わねぇ…

そもそも、
カミュは
悪くないのよ

じゃあ、
なんでさ

ぎゅ…

…笑わない?
笑わないよ
…ほら
あたし…
ずっとラムダで巫女やってたでしょ?
当然、今まで男の人と付き合ったことなんてないし
もっと言えば同じ年頃の男の子なんて周りに殆どいなかったの
異性と認識されていない幼馴染
だから……
元の姿に戻って
〝恋人同士になる〟ってことをちゃんと意識したら
は

は…

は……

かあああ

恥ずかしくて…

すうっ…

てれてれ

かわいい

最近
アイツの顔も
まともに
見れなくて

そっけない
態度ばっかり
しちゃって…

それだけ
じゃない

ラーの鏡を
探してた時
だって

今日だって
繋ごうとして
くれた手を
振り払って
しまったの…

いっぱい
酷いこと
しちゃったわ

きっと怒って
いるわよね…

こ、こんなんじゃ
あたしのこと
嫌いになっちゃう
……

ううん

もう愛想を
つかしてる
かも…

わあっ

ど、
どうしよう
イレブン…！

ベロニカ

ベロニカ、
落ち着いて

大丈夫だよ

カミュが君を
嫌いになる
なんて絶対に
あり得ないよ

な、なんでよ…
あたしだったら
カミュにこんな
ことされたら
即、別れるわ…
ぐすっ
ひえっ…
ぞっ…
…殺気？
でも、
これは…
バッ
どっ
どうかした!?
あー
わかった
？

なんでもないよ
続けて
パァァァ
そ、そう？
………
それだけじゃないの
あたし、
カミュのことが怖かったの…
……怖い？
カミュに気持ちを伝えて
凄く嬉しかったわ
アイツもあたしを好きだって言ってくれた
でも、あたし

想いが通じあったその先のことを

なーんにも考えていなかったの

もちろん、知識としては知ってるのよ

交際をして愛を育んで結婚して子を産むの

でも

身体が小さくなって

頭までどこか子どもになっていたのね

何故かしら

今までと同じ様に隣にいて

一緒にご飯を食べて

手を繋いで

ただ、今より仲が良くなるだけだって

無意識のうちに

そう、思っていたんだわ…

でも、初めて
アイツの前で
元の姿に
戻った時に
分かったの
「ああ」
「あたしは女で」
「アイツは
男なんだ」
って
子どもの姿
だった時は
考えたことも
なかったのに
ね
アイツの
あんな顔、
知らない…
女の子も
そうなんだね
〝も〟？

怖いとは違うけど
僕ら男も、そういう時はあるよ
…そうなの？
うん
女の子はさ
僕ら男を置いて あっという間に 大人になっちゃうよね
……そう？
うん

――時々

ビックリするくらい綺麗な顔してさ

ねえ

ベロニカはカミュが好きなんでしょ？

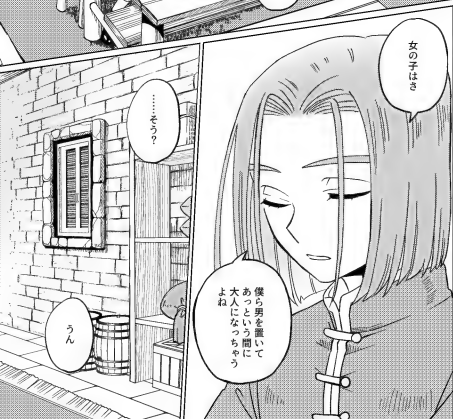
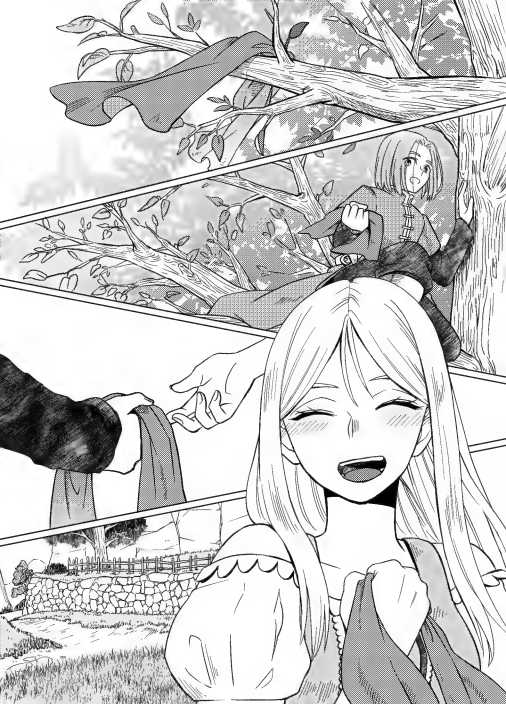
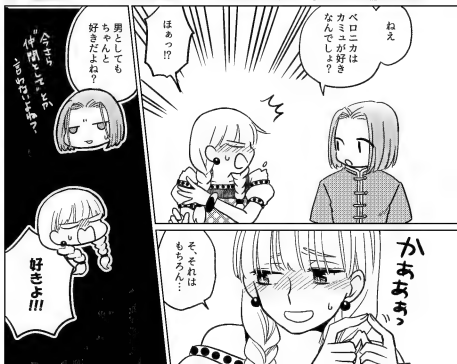
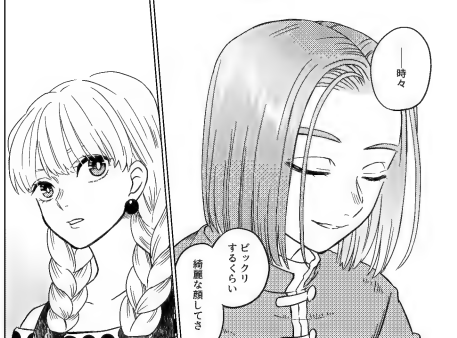
ほぁっ!?

かあああっ

そ、それはもちろん…

男としてもちゃんと好きだよね？

今さら"仲間として"とか言わないよねっ？

好きよ!!!

この姿に戻ったのだって…
アイツの隣に堂々と並びたかったから…！
じゃあ今まで話したことをカミュに伝えてみたらいいよ
なっ！
い、嫌よ！
絶対に笑われるか、お子様って馬鹿にされるもの！
バンバン
え――…
そんなことないよ
イレブンはそうかもしれないけど…
ベロニカ

カミュは
きっと喜ぶよ
……イレブン
……うん
にこっ

というわけで
カミュ、どうぞ
ガチャ
アッ、ハイ
ひゃああああああ!!!!
あんっ、
あ……
アンタ…
なんで…
いや…
相棒んちで
飲もうと
思って…
いつから!?
「私のこと嫌いに
なっちゃう」
最初!!!!

盗み聞きとか

サイッテー――!!!

そいつ最初から分かってたぞ

は――!?

てれ

てれ

いやまあ、仲直りさせるなら丁度いいかなって

言いなさいよ、お馬鹿

ちなみに、マルティナもいるよ

ご、

ごめんなさいいね ベロニカ

ひぃいいいいいいいい

ばかばかばかばかばか!!!!

ポカ

ポカ

ごめん
ごめん

…仲良いな

はあっ…

はあっ…

ゴッ

おい、どうした

もぞっ

おいおいおい…

……ぐすっ

べっ、ベロニカ…!?

くっっ
ご、ごめん！
そこまで嫌がるとは…
泣くなよ…
こっちも盗み聞くつもりはなかったんだ
悪かったって…

……なによ
どうせ面白がって笑ってたんでしょ…
いや……まあ…
今のお前はちょっと面白いけど…

笑ってねえよ
むしろホッとしたんだぜ
オレだって色々気にしてたんだからな

……ごめん

いや…

オレも、まあ…

最初があまりに男前すぎて

お前が筋金入りのお嬢様ってことを忘れてたし…

ベロニカ

ズ

ボ

ひゃっ!?

わしゃ

わしゃ

!?

!!?

お前には お前のペースが あるんだろうし
無理にオレに 合わせる必要 なんてないんだぜ？
お前がオレに そうしてくれた ように
オレだって 待つさ
ん
？
まずは手を 繋ぐところから 始めようぜ
…後退してる
誰かさんの おかげでな
し、仕方ない じゃない
あたし、アンタと違って こういうの 初めてなんだもの
その余裕が
腹立つ〜!!!
そんなの、
オレだって そうだ

あ、いや
女の経験は それなりに あるけど
!!?
いや違う
ゴゴゴゴ…
ゴゴゴ
言いたいのは そこじゃなくて だな
落ち着こう ベロニカさん
だから
こういう "お付き合い" っていうのは
お前が初めて だから…
オレも勝手が わからないん だよ

……そうなの？
そうなの
こう見えても
アンタも緊張したり、不安だった？
ああ
怖かったり？
そうだな
おかげ様で
ぷっ
あは、
あはははは！

くる

なぁんだ
あたしたち
同じだったん
じゃない！

くるっ

…というかな？
お前はオレを
なんだと…

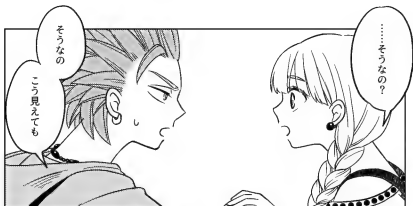
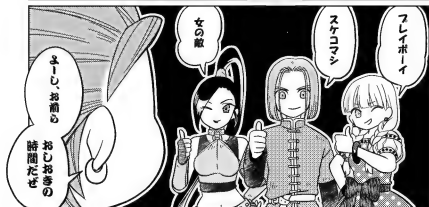
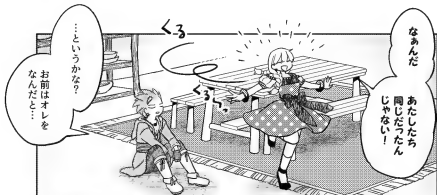
プレイボーイ

スケコマシ

女の敵

よーし、お前ら
おしおきの
時間だぜ

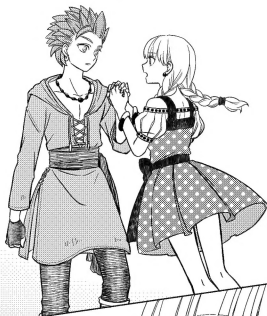
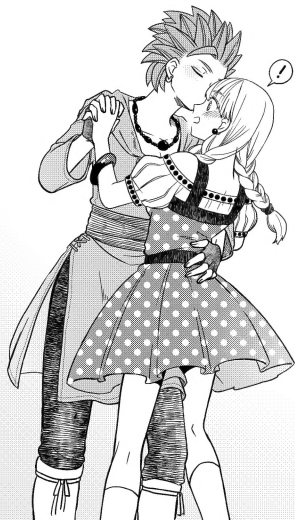
わー！
カミュが
怒ったー！
キャー♥

……

不思議ね

手を繋ぐなんて今まで何度もしてきたのに

あたし、今

すっごくドキドキしてる

ちょ…
まっ…

オレも

!

この度はこの本をお手に取って頂き誠にありがとうございます。
カミュベロの本を出したい！と思ってからだいぶ時間が経ってしまいましたが、
こうして無事発行できてほっとしております。

普段とちょっとずつ違う二人でしたが、
皆様に少しでも楽しんで頂けたなら幸いです。

バイバイ、モラトリアム
2019.2.24
世紀末ハムスター/はる
twitter/@dsc0711
mail/usajigen@gmail.com
印刷/㈱日光企画様

本同人誌は非公式です。
無断転載、ネットオークション等への出品はご遠慮ください。

感想など頂けると喜びます